

会員各位

日本地域経済学会事務局

日本地域経済学会 第34回 金沢大会：全国大会案内（会報第二報）

本年の全国大会（金沢大会）は、下記のとおり、金沢星稜大学において対面を基本に開催します。コロナ感染対策は引き続き必要ですが、是非、会員の皆様には金沢にて対面でのご参加をお願いいたします。なお、オンラインでの参加については視聴のみの限定的なものになりますこと、ご理解ください。

■ 第34回金沢大会の概要

日程：2022年12月10日（土）・11日（日）

12月10日（土） 自由論題報告（1日目）、総会

12月11日（日） 自由論題報告（2日目）、企画セッション

共通論題シンポジウム「デジタル戦略と地域経済」

大会実行委員長：佐無田光（金沢大学）

大会開催校：金沢星稜大学

大会実行委員会（現地問い合わせ先）：金沢星稜大学経済学部経営学科 神崎淳子

〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10番地1 E-Mail: kanzaki@seiryu-u.ac.jp

学会事務局：駒澤大学（長山宗広・松本典子・大前智文） E-Mail: chiikikeizai60@gmail.com

*) 大会前日の12月9日（金）14:00～17:00 Zoom オンラインにて、日本中小企業学会との共催シンポジウムを予定しています。詳細は、追ってお知らせします。

■ 自由論題報告（1日目） 12月10日（土）13:00～16:30 会場：A21・A22・A23教室

第1分科会 会場：A21教室 テーマ：地域経済のエコシステム 座長：岩佐和幸（高知大学）	第2分科会 会場：A22教室 テーマ：地域産業の過去と現在 座長：多田憲一郎（鳥取大学）	第3分科会 会場：A23教室 テーマ：文化・環境・ブランディング 座長：松永桂子（大阪公立大学）
第1報告 報告者：戸田稔彦（愛知県大府市役所） 報告タイトル：基礎自治体における産業政策の新たな潮流—令和時代の愛知県下基礎自治体におけるスタートアップ政策を対象に	第1報告 報告者：石川啓雅（高岡法科大学） 報告タイトル：地方中小酒造業と地域農業の関係から地域再生を考える—地域産業におけるSCの形成とその性格について	第1報告 報告者：大平佳男（帝京大学） 報告タイトル：福島県の再生可能エネルギーの活用における課題に関する研究—継続的な太陽光発電事業に向けて
第2報告 報告者：遠藤聡（横浜国立大学） 報告タイトル：地域経済の水平的グローバルネットワークの形成と展開—フィンランド・オウルと仙台の産業振興における協働を事例として	第2報告 報告者：八坂徳明（高岡法科大学） 報告タイトル：地域内再投資論の考察—富山県奥西地区アルミ産業の発展と現状を事例として	第2報告 報告者：鄭舜玉（園田学園女子大学） 報告タイトル：地域ブランド『想起』『連想』における内外部のギャップ
第3報告 報告者：繁村周（横浜国立大学（院生））・遠藤聡（横浜国立大学） 報告タイトル：拠点的地域が近隣地域の技術的多角化に与える影響—日本の特許データをを用いた定量的分析	第3報告 報告者：岡本宗大（立命館大学（院生）） 報告タイトル：1990年代以降における製造業の立地動向と空間的再編—アップグレードの概念からの接近	第3報告 報告者：倪卉（鳥根大学）、野田哲夫、章立、宋思佳 報告タイトル：地方におけるシェアリングエコノミーの導入と運営主体の役割—観光振興への導入事例の比較より

第4報告 報告者：池島祥文（横浜国立大学）・藤本晴久（鳥根大学） 報告タイトル：企業エコシステムモデルの構築と地域内波及関係の探索	第4報告 報告者：林直樹（京都大学（院生）） 報告タイトル：預貸率を上昇させる取り組みの成功の条件—京都中央信用金庫の融資先開拓の努力から	第4報告 報告者：荒木由希（金沢大学（院生）） 報告タイトル：市場の媒介者による制度的装置の構築の試み—大島紬と加賀友禅を事例として
—————	第5報告 報告者：高橋利博（佛教大学（院生）） 報告タイトル：産業構造の変容と社会保障—G市における衣服製造業と社会保障	—————

*) 自由論題の1つの報告の持ち時間は40分です。報告は25分、質疑応答（入れ替え時間含む）は15分。

■ **総会** 12月10日（土）16:45～18:00 会場：**A21 教室**

* なお懇親会はありませんが名刺交換ルームとして**A24 教室**を用意します。

■ **自由論題報告（2日目）、企画セッション** 12月11日（日）9:00～11:30 会場：**A21・A22 教室**

第4分科会 会場： A22 教室 テーマ：自治体・公共経済 座長：菊地裕幸（愛知大学）	企画セッション 会場： A21 教室 テーマ：災害の地域経済学の射程をめぐって —自然災害と地域のレジリエンス ファシリテーター：池島祥文（横浜国立大学）
第1報告 報告者：清水芳行（北陸大学）、青山結香、中川真央、八木葵、山下希実 報告タイトル：石川県における医療提供体制の変遷と地域経済—県内二次医療圏間の医療格差問題を中心に	報告①：山川充夫（福島大学・名誉教授） 災害多発下の日本に住み続けることの意味を問う—『災害』研究課題の動向 報告②：西堀喜久夫（愛知大学・名誉教授） 災害復興財政から防災への地方財政の課題
第2報告 報告者：藤岡裕大（関西大学（院生）） 報告タイトル：財政データからみたコンパクトシティ富山市の研究	報告③：初澤敏生（福島大学） 中小企業の防災体制—福島県南相馬市を例に 報告④：栗田但馬（立命館大学） 被災地における鮭ふ化放流の復興・防災と事業主体の課題—研究方法としての国際比較の可能性
第3報告 報告者：瀧本賢二（松山大学） 報告タイトル：地方公企業料金の課題検討—水道料金を題材として	報告⑤：千葉昭彦（東北学院大学） 『自然災害論』と地域経済

*) 自由論題の1つの報告の持ち時間は40分です。報告は25分、質疑応答（入れ替え時間含む）は15分。

■ **共通論題シンポジウム** 12月11日（日）13:00～16:00 会場：**A21 教室**

テーマ：**デジタル戦略と地域経済**

企画趣旨：

安倍政権による「地方創生」と「Society5.0」の推進、菅政権による「デジタル庁」の設と「スーパーシティ構想」、「自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）」の推進、岸田政権による「デジタル田園都市国家構想」など、政府の主導により、地方の活性化、地方の課題解決の有力な手段として、デジタル技術の活用とその基盤整備を進めようとする動きが加速している。その背景には、デジタル化によって行政サービ

スの効率化、標準化と広域化を推進しようとする国の意図とともに、デジタル化の分野において世界的に大きく後れをとる日本企業が、地域に眠るビッグデータの活用を新たな事業基盤の足掛かりにしようとする意図が透けて見える。しかし、これらの構想の推進には、データの共有に伴う個人情報保護の問題、企業と自治体との非対称な関係、企業による利益の独占など、さまざまな問題点が指摘されている。

地域経済に限らず、デジタル化が経済および社会に及ぼす影響を巡っては、すでにGAFANなどのいわゆる「プラットフォーム」による利益の独占や、プラットフォームに事実上雇用されるギグ・ワーカーの労働環境など、さまざまな問題が指摘されているが、一方で、プラットフォーム・ビジネスがもたらす新しい経済関係の可能性にもまた注目が集まっている。すなわち、デジタル技術の生み出すプラットフォームにより、企業が生み出す商品やサービスを一方的に消費するだけの主体から、消費者自身がモノやサービス、情報を生み出す主体となりうる可能性である。実際、いくつかの地域では、既存企業に依存しない主体の形成や、主体間のつながりの構築による課題解決にプラットフォームを活用する取り組みも広がっている。

そこで本シンポジウムでは、政府の主導する地方のデジタル化、その具体化としての「スーパーシティ構想」や「デジタル田園都市国家構想」に焦点を当て、それらが自治体や地域住民、地域経済に及ぼす影響について批判的に検証しつつ、デジタル技術が生み出すプラットフォームを住民主体の地域づくりや地域課題の解決に活用する可能性と課題について考えてみたい。

○司会・コーディネーター

：豊福裕二（三重大学教授）

○登壇者、報告タイトル

：中山徹（奈良女子大学教授）

「デジタル田園都市国家構想の現状と対抗軸—デジタル化は魔法の杖か」

：内田聖子（NPO 法人アジア太平洋資料センター共同代表）

「誰がルールを決めるのか—デジタル監視資本主義と自治・民主主義」

：佐無田光（金沢大学教授）

「プラットフォーム型経済に対する地域の適応可能性」（仮）

■ 自由論題賞の授賞式 12月11日（日）16：00～16:20 会場：A21 教室

奨励賞選考委員会委員長 初澤敏生（福島大学）

■ 開催校挨拶、閉会 12月11日（日）16：20～16:30 会場：A21 教室

佐々木雅幸（学校法人稲置学園理事、金沢星稜大学特任教授）

■ 大会参加にあたって

○第34回金沢大会への参加申し込み、総会の参加・不参加（委任状）について

右記フォームより回答・送信してください。 <https://forms.gle/7j8bCG9SeT8Z5mgEA>

フォームQRコード →



○「新型コロナウイルス感染症」対策について

学会員には、体調不良等の方はオンライン参加をするよう、案内を徹底いたします。会場入口には手指消毒液を準備し、ヘルスチェックを行います。全教室で室内換気を継続的に行います。

■ 大会会場・交通アクセス、会場案内

【大会会場】 金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10番地1

【交通アクセス】



〈JR金沢駅から〉

- JRバス（東口〈兼六園口〉4番のりば）牧線、鳴和・星稜高経由、東長江または小之又方面行き「星稜高校」（乗車時間約15分）下車、徒歩1分
- 東口〈兼六園口〉4番のりばから発車するその他のJRバスは、すべて「鳴和」下車、徒歩10分
- 北陸鉄道バス（1番のりば）柳橋方面行き「鳴和」（乗車時間約15分）下車、徒歩10分
- 車で10分

〈IRいしかわ鉄道線 東金沢駅から〉

- 徒歩20分（車で3分）
- 金沢星稜大学・星稜高校行き「星稜高校」（約3分）下車、徒歩1分

〈加越能バス 富山県 南砺方面から〉

- 南砺金沢線 金沢駅西口行き「星稜大学前」下車、徒歩3分
「井波」より約60分、「福光駅前」より約40分

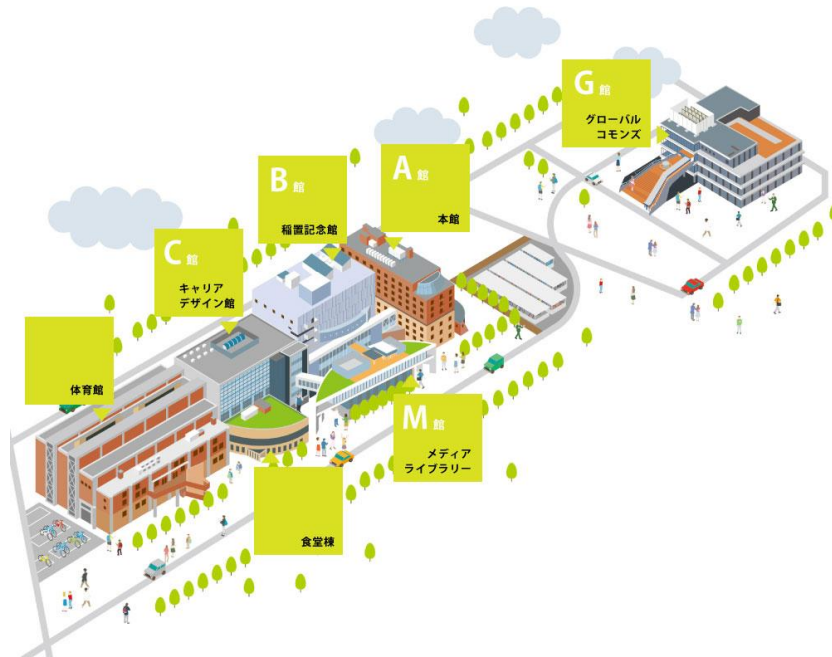
〈北陸自動車道 金沢森本インターから〉

- 山側環状（金沢東部環状道路）を兼六園方面に向かい東長江出口より1分

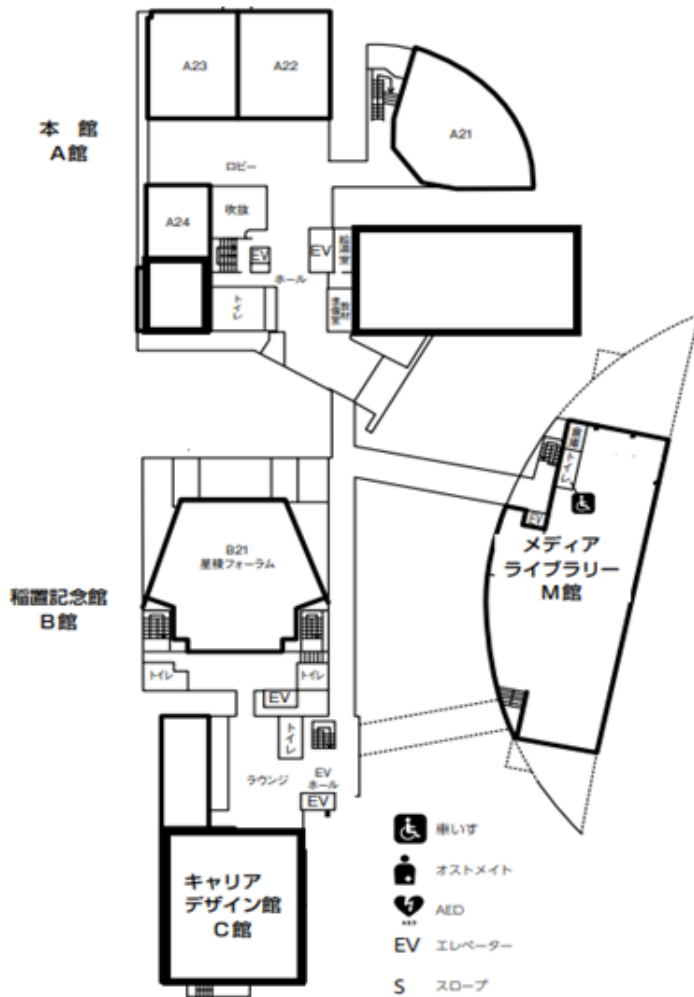
〈小松空港から〉

- 高速バス利用で金沢駅まで約40分

【大会会場】



【本館 A 館 2 階】



大会実行委員会より

- 大会受付は本館 A 館 2 階ロビーです。本館 A 館正面入り口からお入りいただき、階段・エレベーターで 2 階にお上がりください。
- 分科会は本館 A 館 2 階各教室で行います。名刺交換ルームは A24 教室です。
- 共通論題セッション、は稲置記念館 (B 館) B21 星稜フォーラムで行います。
*各会場は、大会プログラム等にてご確認下さい。
- 大学周辺には飲食店は少ないです。コンビニは、ファミリーマート (徒歩 3 分) とセブンイレブン (学内) があります。セブンイレブンは、日曜日は休業します。
- 宿泊施設は、大学周辺には少ないですが、金沢駅や香林坊周辺に多数あります。